

【発行者】新潟農業普及指導センター
新津庁舎 0250-24-9624 津川分室 0254-92-0965

中生品種・晩生品種も高温登熟！ 籾の黄化状況を早めに確認し、遅れず収穫

1 収穫適期の把握

(1) 中生品種は高温登熟となっており、刈り遅れによる基部未熟粒や立毛胴割粒の多発が懸念される。

下表を参考に、出穂後積算気温による収穫適期日より早い時点で、必ず籾の黄化状況を確認し、黄化率 85～90%で収穫する。

(2) 晩生品種も今後の高温により登熟が早まる可能性が高いため、早めに籾の黄化状況を確認し、刈り遅れないよう留意する。

表 収穫適期のめやす（8月31日現在 登熟積算気温）

品 種	出穂期	収穫適期の 出穂後積算気温	収穫適期 ^{※1}
こがねもち（5/5移植）	7月31日	950℃ （高温登熟年）	9月5日
コシヒカリ（5/5移植）	8月6～7日		9月12～13日
コシヒカリ（5/10移植）	8月8～9日		9月14～15日
新之助（5/中旬移植）	8月13日	1,000～1,050℃ ^{※2}	9月23日

※1 新津アメダスを活用した登熟積算気温によるめやす。

※2 今後の気象により高温登熟となる可能性が高いため、高温登熟年のめやす。

2 今後の気温（1か月予報：新潟地方気象台8月27日発表）

期間の前半は、かなり気温が高くなる可能性がある。

気温が高い確率

1週目(8/29～9/4)：80% 2週目(9/5～9/11)：80% 3～4週目(9/12～25)：60%

3 収穫時の籾水分が低い場合の胴割れ防止対策

(1) 成熟期頃の籾水分の低い状態でフェーンや高温に遭遇すると立毛胴割れが多発する危険があるため、刈り遅れないよう特に注意する

(2) 籾水分が低い場合、日中の加温乾燥は避け、常温で通風乾燥を行う。点火は夜間に気温が下がってから行い、送風温度を低めに設定する。

(3) 乾燥機に2段乾燥機能や休止乾燥機能が備わっている場合は活用する。

メルマガ登録募集中！〈申込先〉 ngt112130@pref.niigata.lg.jp

件名に「作物技術情報メルマガ登録希望」、本文に「名前」「住所」「電話番号」をご記入ください。

